

平成 28 年富良野市教育委員会第 5 回定例会

開催年月日	平成 28 年 10 月 28 日（金） 午前 11 時 05 分開会
開催場所	富良野図書館 3 階教育委員会室
出席委員	委員長 吉田幸男 委員 津山正樹 委員 山田淳二 委員 菅野義則 教育長 近内栄一
欠席委員	なし
説明のために出席した者の職氏名	教育部長 遠藤和章 学校教育課長 稲葉武則 社会教育課長 吉田等 学校教育課管理係長 石坂征和
議事日程	日程第 1 会期の決定について 日程第 2 議案第 1 号 平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について 議案第 2 号 富良野市いじめ問題審議会委員の委嘱について 議案第 3 号 富良野市青少年表彰規則に基づく平成 28 年度表彰者の決定について
会議録署名委員の氏名	委員長は、会議録署名委員に次の委員を指名した。 山田淳二委員
傍聴人	なし

議事の経過

開会 午前 11 時 05 分

吉田委員長

只今より平成 28 年富良野市教育委員会第 5 回定例会を開会いたします。
会議録署名委員には、山田委員にお願い致します。

吉田委員長

次に、教育長事務報告をお願いします。

近内教育長

平成 28 年 8 月 24 日から平成 28 年 10 月 27 日までの事務報告を致します。お手元の資料に基づき、主だったものについてご説明いたします。
8 月 30 日、地域交流連携協定改定記念講演「東京大学北海道演習林の林分施業法」ということで、北海道演習林の鎌田林長による講演により当日は、約 80 名の参加がありました。

9月3日、山部地区敬老会、麻町地区敬老会に参加しております。

9月6日～16日まで、市議会第3回定例会において議会総務文教委員会から、事務調査報告として「学校教育と地域との関わりについて」の報告があり、本市の取組の状況、今後めざすべき方向について見解が示されました。併せて、同じテーマで都市事例調査報告がされ、三重県志摩市におけるコミュニティ・スクールの取組、愛知県瀬戸市の東大演習林と連携した環境教育、豊田市のコミュニティ・スクール・キャリア教育・学社融合事業の展開、一宮市のコミュニティ・スクールの取組事例報告がされました。今後、地域社会に開かれた学校づくりによる富良野の将来を担う子ども達の育成について、議会とも情報共有・意見交換を進めて行く考えです。

9月11日、樹海中学校学校祭訪問しています。

9月18日、扇山小学校学芸会訪問し、樹海中・扇山小とも、演劇的手法を活用したコミュニケーション教育推進事業等を通じた主体性や表現力が高まっていると感じました。

9月26日、北海道教育委員会田澤教育委員の緑峰高校視察に際し、上川教育長も同席し富良野市の教育について説明要請があり、郷土を愛しふるさと富良野に心が向く教育の取組について説明しました。

9月26日から、市長と語ろう！地域懇談会を随時行っており、これまでの懇談会で主権者教育及び食育教育の取組状況、東大演習林の成人教育への展開要望、学校施設の整備充実などの意見がありました。

9月27日、小中高一貫ふるさとキャリア教育推進会議では、地域の教育資源を活用したキャリア教育の充実についての意見交換を行い、緑峰高校宮本校長から小中高それぞれの地域の大人と関わることが重要であり、それらを記憶として残すために児童生徒の思い出をマイノートに記録し、小中高と引き継ぎ活用するようになれば、他の学校でも使えるとの提言がありました。出席者意見として、地域の人たちが学校の授業に積極的に関わることやスポーツを通じた地域の大人との交流機会を設けるなどの案が出ました。

9月28日、富良野市小中学校音楽発表会では、これまで主体性・協調性・表現力向上などに向け、合唱・楽器演奏などの教育に精通した指導者の確保に努めましたが、子ども達の力が着実に付いてきていることを実感しました。

9月29日、北海道NIE(NEWS IN EDUCATION)推進協議会上川地区富良野セミナーでは、新聞を活用した学校での教育活動ということで、ローターアクトが主催し市教委が後援している市内小中学校学級新聞コンクール及び富良野高校における新聞記事を活用した理科授業の事例発表があり、参加者から高い評価の声が寄せられました。

9月30日、第2回富良野市社会教育委員会会議の中で、青少年表彰者の選定について諮問しました。

10月5日、コミュニティ・スクール研修会にて、来年から市内全ての小学校及び

小中併置校においてコミュニティ・スクール導入をめざしている中、学校関係者、保護者地域住民を含めて100名以上の参加があり、参加者アンケートでは学校を中心に地域ぐるみで子ども達の教育を進めることについての大切さの理解が深まったとの意見が多数寄せられました。

10月8日～10日、ふらの演劇祭で、新聞報道でもありましたが参加校は史上最多の7校（うち富良野小学校は9年振り、山部小学校は初参加）参加し、児童生徒の表現力が格段に高まっていることと、台本づくりから演出まで手掛けている担当教員の資質能力の向上に確かな手ごたえを感じました。富良野塾グループ、富良野演劇工房との連携による取組の成果であり、翌週の北海道社会教育研究大会における講演のため来市された平田オリザ氏からも、講演の中で富良野市の取組について高く評価されました。今後、全ての小学校が参加できるような状況づくりが必要と感じました。

10月11日、上川管内教育委員会連合会教育長部会で、生徒の減少・学校の統廃合に伴う中体連・中文連の大会運営の整理統合の方向性について、検討内容について管内中体連会長から説明がありました。今後、数年にわたり体制や運営のあり方について整理が必要。それから、教職員のメンタルヘルスチェック導入について管内各教育委員会が足並みをそろえた取組をする必要性について確認しました。

10月13日～14日、北海道社会教育研究大会では、全道から約450名の社会教育委員及び関係者が参加しました。例年になく多くの参加があり、本市社会教育委員を中心に沿線社会教育委員・担当職員の周到な準備及び大会運営に対し、北海道社会教育委員連絡協議会等から大きな賞賛を頂き、盛会に終了しました。

10月17日、第2回広域連合定例会で、広域連合教育委員に上富良野町服部教育長、南富良野町上林教育長の再任案が同意されました。

10月17日、第3回富良野市社会教育委員会議では、青少年表彰候補者の選定について答申をいただきました。

10月19日、教育講演会が毎年10月に理科教育講演会として開催していますが、今年は、文部科学省学校教育課程調査官 鳴川哲哉氏を迎えて、平成32年度から次期学習指導要領に基づく教育課程が小学校から順次実施される中で、それに向けて現在の次期学習指導要領策定の動向及び理科教育の方向性について講演をいただきました。教職員の意識が高く参加者も約80名であり、これまでで最大の参加者であり今後につながることができました。

10月20日、第2回北海道スポーツ推進会議では、北海道スポーツ賞受賞対象者の選定を行いました。個人情報絡みがあり、来年1月の受賞まで非公開となります。

10月21日、地域と共にある学校づくり推進フォーラムでは、北海道及び北海道教育委員会がコミュニティ・スクールの推進に向けて、地方創生・地域づくりの主要施策として北海道教育に関する大綱に位置付けており、全道の教育委員会に声掛けを行い参加しました。

10月25日、中高連絡協議会進路指導担当者説明会があり、来年の高校進学に向け

た進路指導が本格的に始まる中、市内中学校の校長・教頭及び進路指導担当者を集めて、富良野高校・富良野緑峰高校の現況を説明し、市内高校進学指導を働きかけました。

以上です。

吉田委員長

只今の教育長事務報告について、何かご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声あり》

吉田委員長

無ければ、次に進みます。

吉田委員長

これより 議題に入ります。

日程第一 会期の決定についてお諮り致します。

会期については、本日一日と致したいと存じますが、これにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声あり》

吉田委員長

ご異議なしと認めます。よって、只今お諮りのとおり決しました。

吉田委員長

日程第二に移ります。

議案第1号を議題とします。

議案第1号「平成28年度全国学力・学習状況調査結果の公表について」を説明願います。

遠藤教育部長

議案第1号 平成28年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、ご説明申し上げます。

本件は、平成28年4月19日に実施した全国学力学習状況調査の富良野市の調査概要について、公表しようとするものでございます。

概要は、富良野市PTA連合会・富良野市校長会・富良野市教育委員会で構成する富良野市学力向上推進プロジェクトで検討・作成したものでございます。

教科に関する調査の結果につきましては、概要の2ページに掲載のとおり、小学校6年生では、国語A・国語Bで全国平均を上回っております。算数Aは、全国平均正答率と同等で、算数Bは全国平均正答率と同値となっております。中学校3年生では、国語Aで全国平均正答率を上回り、国語Bで全国平均正答率と同等となっております。数学A・数学Bは、共に全国平均正答率を上回っております。

これらの結果を受けまして、今後の授業改善に向けては、概要の5ページ中段で示しているとおり、子どもの状況を細かく把握し、指導の改善・充実に取り組んで

まいります。

概要の6～8ページからは質問紙調査に関する結果でございます。さらに概要の9ページからは生活習慣・学校生活等と学力との相関関係でございますが、朝食をしっかりとる、早寝・早起きをする、ゲーム・スマートフォンはしない、家庭学習に取り組む、地域や社会で起こっている問題への関心が高い子どもは、全科目で全国平均を上回る結果となることがわかりました。

このことから、家庭における課題と改善のポイントを概要の14ページに示し、早寝・早起き、挨拶、家事分担など、家庭での生活リズムを整えるなど、学びの土台の定着、学びの環境を整える取り組みを推進してまいります。

以上、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

吉田委員長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

山田委員

先生の活力と子どもたちの頑張りにより、力がついていますね。

津山委員

公表することについては、賛成です。分かりやすくまとまっておりますが、広報には掲載されると聞きましたが、ホームページは公表しないのですか。

稲葉学校教育課長

ホームページにも公表されます。

津山委員

いろいろな方に知ってもらい、公表の仕方も工夫してもらいたい。

吉田委員長

他に無ければ、議案第1号について同意することにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

吉田委員長

ご異議なしと認めます。よって、原案のとおり決しました。

次に、議案第2号を議題とします。

議案第2号「富良野市いじめ問題審議会委員の委嘱について」を説明願います。

遠藤教育部長

議案第2号 富良野市いじめ問題審議会委員の委嘱について、ご説明申し上げます。

本件は、富良野市いじめZERO（ゼロ）推進条例第27条に基づき、いじめZEROの推進を図るため、教育委員会の附属機関として富良野市いじめ問題審議会を設置しておりますが、現委員が本年9月30日をもって任期満了となりましてので、別紙名簿のとおり、引き続き9名の方を委員に委嘱するものでございます。

任期につきましては、平成28年10月1日から平成30年9月30日までの2年間でございます。

以上、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

吉田委員長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声あり》

吉田委員長

無ければ、議案第2号について同意することにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

吉田委員長

ご異議なしと認めます。よって、原案のとおり決しました。

次に、議案第3号を議題とします。

議案第3号「富良野市青少年表彰規則に基づく平成28年度表彰者」の決定についてを説明願います。

遠藤教育部長

議案第3号 「富良野市青少年表彰規則に基づく平成28年度表彰者」の決定について、ご説明申し上げます。

本件は、富良野市青少年表彰規則に基づき、各町内・区会長及び関係機関・団体に対し本年8月上旬に表彰者の推薦について依頼するとともに、広報ふらの8月号において推薦依頼を周知いたしました。その結果、推薦の期日までに、2団体の推薦をいただいたところであり、9月30日開催の第2回富良野市社会教育委員会議に対し、表彰者の選考について教育長より諮問をいたしました。社会教育委員会議では、選考委員3名による調査を行った後、慎重に審議をいただき、10月17日、議案に記載のとおり、2団体を本年度の表彰候補者とする答申をいただいたところでございます。

候補者の事績につきましては、議案の中の一覧表のとおりでございますが、あらためてご説明させていただきます。

初めに『北海道富良野緑峰高等学校 園芸科学科 ふらのカレンジャー娘』ですが、ふらのカレンジャー娘は、富良野緑峰高等学校園芸科学科のカレー専攻班に所属する生徒たちで構成されており、平成16年9月より活動しております。当初より地元の食材に付加価値をつけた『富良野オムカレー』を通して、市内はもとより道内外に“ふらの”の魅力を華麗（カレー）に発信・PRする活動を展開しております。

さらに、スーパー・コンビニのオムカレー弁当の商品開発、学校給食センターと連携した食育授業の展開、オムカレーを家庭の食卓において浸透を図るためスーパーや企業と連携した取り組みなども行なっているところであり、今後においても、その活動が地域おこしの一翼を担い、市内の青少年の模範となることが期待されているところです。

次に、『日本ボーイスカウト富良野第1団』ですが、日本ボーイスカウト富良野第1団は、青少年がその自発的活動により自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ有能な技能を体得し『よりよい社会人』となることを目的として、昭和36年の設立から50年以上が経過しております。現在は各年代別で部隊を編成し、野外体験活動、募金活動、環境美化活動、社会奉仕活動等の多岐に渡る活動が行なわれているところであります。

これらの多くの活動は、長年に渡り継続実施されており、青少年の健全育成に大きく貢献され、他の青少年団体の模範となる活動であります。

以上のことから、2団体とも表彰規則第3条第2号に規定する「文化、教養、体育又は奉仕活動を目的としておおむね30歳までの青少年で組織されている団体」であり、かつ、「堅実な活動を常時又は定期的に3年以上継続して行い、それぞれの活動の成果が著しく他の青少年団体の模範となるもの」に該当いたしますので、本年度の青少年表彰者として決定していただきたくご提案いたします。

以上、よろしくご審議のほどお願いいたします。

吉田委員長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

吉田委員長

個人の推薦はなく、2団体のみ表彰ですか。

遠藤教育部長

2団体のみです。

吉田委員長

最近は選考する段階で応募が無い状況ですか。

遠藤教育部長

個人の場合は、長年にわたり周りの関係者に認められるような実績がない状況です。昔は、農業団体の枠の中で推薦されていましたが、今はない状態です。

吉田委員長

選考基準も厳しくなり、個人の表彰がないというのは寂しいです。

菅野委員

農業団体も積極的に推薦しようとする雰囲気もない状態である。

吉田委員長

地域の若いリーダーを育てる意味でも、本来的に出てくるべきではないか。

津山委員

農業従事者の若い人や商工団体経営者が推薦されないことが問題ではないか。

吉田委員長

年齢制限も30歳前後で農業後継者も育たない中で、発掘するということがない状態が、地域の意識も変わってきて候補がない状態ですか。

稲葉学校教育課長

いない状態です。

菅野委員	農業団体でも、役職などがついた方は30歳を超える方が多い状態です。
近内教育長	継続して行っていくことが需要である。
吉田委員長	他に無ければ、議案第3号について同意することにご異議ございませんか。
	《各委員より「異議なし」の声》
吉田委員長	ご異議なしと認めます。よって、原案のとおり決しました。 以上で、本日の議事はすべて終了致しました。 これをもって平成28年富良野市教育委員会第5回定例会を閉会いたします。
閉会	午前11時30分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

委員長

署名委員

会議録調製者 学校教育課管理係長 石坂 征和